



## 目の衰えと対処法



がなくなってくるからで、眼科で視力を測ってもらい、自分に合った老眼鏡を作ってもらいます。

加齢とともに目がかすんできたり、まぶしく見えるようになってきたら「白内障」が原因かもしれません。目のレンズに当たる水晶体が加齢とともに白く濁る病気です。生活に支障を来すようになったら、濁った水晶体を取り除き、眼内レンズを入れます。

目の衰えとは、年を取って、目のかすみや、視野が欠けたり、近くのものが見えにくいといった症状を指します。

その主な病気には、老眼・白内障・緑内障・加齢黄斑変性などがあります。

「老眼」は加齢とともに起こる目の変化なので、誰もが避けることはできません。人によって異なりますが、多くは40歳を過ぎると始まります。中高年の人で「読書や細かい作業中に近くが見えにくい」などの症状があれば、老眼の可能性あり。これは目の水晶体の弾力性

「緑内障」は、眼圧が高まることで視神経が障害される病気。進んでくると視野が欠けてきますが、自分ではなかなか分かりにくいので、高齢になったら定期的に眼底検査と視野検査を受けた方がよいでしょう。

「黄斑」という網膜の中心部に障害が起きる「加齢黄斑変性」は、ものがゆがんで見えたり、視力が落ちたりします。視野のゆがみをチェックするには、机の上に中央に点のある格子状の線が入った紙を置き、片方の目を手で覆い、目と紙の距離を30cmほど離して紙の中央を見つめ、格子にゆがみなどがないかチェックします。

※3月号で終了した介護のミニ知識のバックナンバーは当ホームページでご覧いただけます。

## トラブル

### 対策講座

#### 健康食品の送り付けにご注意！

健康食品の送り付けをめぐるトラブルが増加しています。

【事例】自宅に「以前あなたが注文した健康食品が用意できたので送る」と電話があった。覚えがないので「注文していない」と断ると、「数カ月前に申し込みを受けた」と言う。健康食品を別の業者から通信販売で購入したことがあるため、自分の勘違いかと一瞬迷ったが、押し問答の末何とか断った。しかし数日後、宅配業者から「代引きで健康食品が届いている。代金は3万円だ」と連絡があった。受け取りたくないが、宅配業者に迷惑が掛かるので、受け取った方がよいのだろうか。

消費者の事例のケースは「もしかしたら注文したかもしれない」という勘違いを利用して、強引に商品を送り付ける悪質な手口です。注文した事実がないにもかかわらず



らず事業者が一方的に商品を送り付けていることから、ネガティブオプション（売買契約に基づく一方的な送り付け）に当たると考えられます。契約は成立していないので受け取る義務はありません。業者から電話を受けて送付を承諾してしまった場合は、電話勧誘販売に当たると考えられ、クーリング・オフができます。制度を確認しておきましょう。

いずれの場合も商品を受領してお金を支払ってしまうと、返金を求めることは簡単ではありません。商品が配送されてきた場合には、業者名や住所、連絡先を控えて受け取り拒否をしましょう。その上で消費生活センターに相談してください。

過去に通信販売を利用したことのある高齢者が主に狙われています。見知らぬ業者からの電話にはきっぱり断るようにしましょう。